



転倒事故が格段に減る6つのポイントを集中講義 転倒リスクのアセスメントと 転ばない介助術・環境の 改善策 **実例を交えて**



※講義時間：約3時間

原因がわかれば対策が立てられる！
介護現場の理学療法士がすぐに実践できる転倒予防策を伝授！

高齢者はひとたび転倒すると活動性が落ち、寝たきりや認知症につながる可能性があります。あなたのその介助、あなたの施設の環境や体制が利用者の転倒を招いているとしたら…?! 本セミナーでは、皆さんの施設の転倒事故が格段に減少する適切な介助術と、転ばない身体・環境・職場づくりのポイントについて介護現場の経験豊富な理学療法士が実例を交えて指導します。

松本健史氏 合同会社松本リハビリ研究所 所長
理学療法士・介護支援専門員・社会福祉学修士
関西大学法学部卒業。阪神大震災後リハビリの道へ。2000年九州リハビリテーション大学卒業。2014年より、本の出版、研修事業の「松本リハビリ研究所」設立。リハビリ介護の視点と技術が持てる「生活リハビリの達人」養成研修が話題。

録画配信 [視聴期間]
オンライン **約2週間** 22年10/26(水)から
視聴可能になります。

※申込締切：22年12/21(水)

参加料 一般 **11,000円** 会員 **8,000円**
税込 ※講義時間約3時間の録画配信セミナーです。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

あなたのその介助、その環境が
転倒リスクを高めているかもしれません！

プログラム

- 改善1** 「高齢者は転びやすい」その原因を知ろう！
●内的要因 ●外的要因 ●突発的要因
- 改善2** 「転倒リスクの高い利用者」をいかに見極めるか！
●加齢による変化 ●病気・障害によるリスク ●薬・食事の影響
- 改善3** 「転倒リスクに対応した体制」で
安全な職場をつくる！
●転倒事故の多い時間帯 ●センサーマットの功罪
●事故対策のワークショップ
- 改善4** 「転ばない環境づくり」は時と場所の事前対策を！
●動線の把握と断捨離 ●福祉用具活用の留意点 ●設備の改善
- 改善5** 「転倒させない介助術」を知ってリスク回避を！
●安全介助の基本 ●高齢者の力を生かす ●NGな介助の理由
- 改善6** 「転倒予防体操」で日頃から転倒しない体づくりを！
●生活の再構築 ●筋肉の活性化 ●バランス機能 ●反射神経

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 172630 **検索**

関連雑誌

新・実践情報誌 [季刊]
(定期刊行物・会員制)

個別ケア実現への具体策

認知症ケア

B5判 112頁
入会金 3,000円
年間購読料
13,620円(共に税込)

秋号以降の特集

- 介護現場のいわゆる“困ったスタッフ”とのかかわり方 [秋号]
- 認知症の人の誤嚥性肺炎予防と摂食嚥下機能の改善 [秋号]
- 介護現場でのメンタルヘルスケア [秋号]
- 認知症の人の意思を尊重した看取りケア実践 [冬号]
- 高齢者のスキンケア (皮膚裂傷) 予防と日常ケア [冬号]
- Z世代の強みを活かす! 若手スタッフの人材育成 [冬号]

17年連続合格者数全国No.1!
厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所
社会福祉士養成所 通信課程

4月開講! 募集要項はダウンロードできます

日総研 社会福祉士 **検索**

日総研 **接遇大賞** 優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 **検索**

お問合せ TEL: **0120-054977** URL: **www.nissoken.com** 日総研 **検索**

主催 **日総研** 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル